

## 大会報告

第63回大会は、2021年9月11日（土）と12日（日）の2日間、九州大学大学院芸術工学研究院にてオンラインで開催された。詳細は以下のとおり。

会場：  
九州大学大学院芸術工学研究院  
（オンライン開催）

会期：2021年9月11日（土）  
～12日（日）

大会参加費：無料

## 【プログラム】

### 第1日目 9月11日（土）

受付開始 12:30～

■開会式 12:45～12:55

大会実行委員長挨拶 伊原 久裕（九州大学）

### ■第1セッション

13:00～14:30 | 司会：谷本 尚子 [京都精華大学]

研究発表01 13:00～13:30

記念用プリント・テキスタイルにみられる国民国家の視覚化—  
1953年エリザベス二世戴冠式から新生アフリカ国家イメージまで  
門田 園子（お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所）

研究発表02 13:30～14:00

日英博覧会及び近代輸出陶磁器業界において藪明山の果たした役割について

井谷 善恵（東京藝術大学）

研究発表03 14:00～14:30

海に見える杜美術館蔵『舞の本絵本』の挿絵について—「伏見常盤」  
を中心に—

酒井 公子（京都工芸繊維大学大学院在学）

休憩20分

### ■第2セッション

14:50～16:20 | 司会：高安 啓介 [大阪大学]

研究発表04 14:50～15:20

クワクボリョウタの初期作品から「LOST」シリーズへの作品形式  
の変遷—映像という視点から—

高見 翔子（関西学院大学大学院在学（弘前れんが倉庫美術館））

研究発表05 15:20～15:50

「木目」と「空」にみる素材観の変容—化粧シートと銘木を対象として—

岡田（泊里）涼子（武庫川女子大学大学院在学）

研究発表06 15:50～16:20

立方体の展開図を使った組合せパズルの構成とプログラミング

天貝 義教（秋田公立美術大学）

休憩10分

■総会報告 16:30～17:00

第2日目 9月12日（日）

受付開始 9:45～

■第3セッション

10:00～11:00 | 司会：佐藤博一 [京都芸術大学]

研究発表07 10:00～10:30

雑誌『芝居とキネマ』におけるグラフィックデザインの展開

山本 彩（京都工芸繊維大学大学院在学）

研究発表08 10:30～11:00

日本寫眞美術展覧會における「寫眞工藝」—近代日本における写真、産業、商業の結びつきの萌芽をめぐって—

芦高 郁子（京都工芸繊維大学大学院在学）

休憩10分

■パネル発表会

11:10～11:50 | 司会：塚田 章 [京都市立芸術大学]

パネル発表01 11:10～11:20

Moon Catcher

星野 祥子

パネル発表02 11:20～11:30

Missing

高橋 紀子（福井工業大学大学院在学）

# 大会報告

パネル発表03 11:30～11:40

対話するピクトグラム

曾 品耘（ソウ ヒンウン）（京都芸術大学大学院在学）

パネル発表04 11:40～11:50

中村哲医師メモリアル・アーカイブのグラフィックデザイン

工藤 真生、伊原 久裕、池田 美奈子（九州大学）

昼食 11:50～13:00

## ■第4セッション

13:00～14:00 | 司会：川島 洋一 [福井工業大学]

研究発表09 13:00～13:30

「装備」の制作におけるシャルロット・ペリアンとル・コルビュジエの共同性

千代 章一郎（島根大学）

研究発表10 13:30～14:00

磯崎新の初期都市思想にみる反芸術的性格—美術批評言説を手がかりに—

鯉沼 晴悠（京都工芸繊維大学大学院在学）

休憩15分

## ■シンポジウム「多様性と社会包摂のデザイン」

14:15～16:35

社会包摂デザインと社会包摂デザイン・イニシアティブの活動

尾方 義人（九州大学）

ゲストによる講演

定村 俊満（株式会社ソーシャルデザインネットワークス代表、日本サインデザイン協会常任理事）

工藤 真生（九州大学、サインデザイン）

須長 正治（九州大学、色彩学）

ディスカッション：尾方 義人、定村 俊満、須長 正治、工藤 真生

モデレータ：伊原 久裕

■閉会式 16:35 ~ 16:50

開催校挨拶

谷 正和（九州大学副学長・九州大学大学院芸術工学研究院長）

会長挨拶 谷本 尚子（京都精華大学）

## 総会報告

第63回総会は、第63回大会の開催がオンライン開催となったため、以下の要領で、書面決議が行われた。

2021年7月3日に開催された役員会において、総会議案が承認された。

総会議案書が、8月2日付で会員に郵送され、9月30日必着の議決権行使票をもって決議が行われた。

議決権行使票の送付締切時の正会員数310名（2021年4月1日時点での会員数309名に対し、その後の新入会員9名、退会者8名）定足数（正会員数の5分の1以上）62名以上返送された議決権行使票121通によって総会は定足数を満たして成立した。総会の議決結果は、9月11日のオンラインでの大会中に報告された。

なお、総会報告後、引き続き、2020（令和2）年度 意匠学会各賞の報告が成された。

受賞者は以下のとおり。

「意匠学会賞」受賞者：

並木 誠士

「意匠学会論文賞」受賞者：

門田 園子

（「意匠学会作品賞」：

該当者なし）

書面決議

以下、総会議案と議決報告である。

議案1. 2020（令和2年）年度 事業報告および収支決算

1) 第62回大会 2020年7月18日（土）、19日（日）

於 九州大学（中止）

※8月総会実施（書面議決）

2) 研究例会

第241回 2020年5月9日（土）於 武庫川女子大学（中止）

第242回 2020年9月26日（土）オンラインにて実施

（担当：事務局）

第243回 2020年11月14日（土）オンラインにて実施

（担当：事務局）

第244回 2021年2月20日（土）オンラインにて実施

（担当：事務局）

3) 刊行物（『デザイン理論』76・77号、「会報」86号（web版））

4) 意匠学会賞 各賞の授与

5) 役員会の開催（8回）※臨時のメール審議を含む

6) 分科会（デザイン史分科会、2020年12月19日（土）オンラインにて実施）

7) 会員の募集

8) 広報活動の推進

9) 他学会等との交流（藝術学関連学会連合、デザイン関連学会連携シンポジウムは共に延期）

10) 名簿の発行

〔2020年度収支決算報告〕 表1 参照

# 総会報告

意匠学会 2020(R.2)年度 収支決算  
自 2020年4月1日 至 2021年3月31日

収入の部			支出の部		
事 項	予算額(補正)	決算額	事 項	予算額(補正)	決算額
前年度よりの繰越金	9,149,947	9,149,947	『デザイン理論』編集費	20,000	20,000
			『デザイン理論』印刷費	1,000,000	942,480
			大会補助費	0	0
会員会費	2,504,000 (8,000×313)	2,416,000 (8,000×302)	例会費	0	0
			分科会費	0	0
			ホームページ作成・維持費	40,000	5,568
			学会賞等奨励金	60,000	(*)1,240,000
雑収入	0	870	芸術学関連学会連合会費	15,000	15,000
			デザイン関連学会連合シンポジウム	0	0
			事務費	15,000	38,281
利息	0	26	旅費	60,000	0
			予備費	80,000	22,110
			業務委託業務費	630,000	464,614
			業務委託立替金	180,000	0
			編集委員会 幹事委託料	100,000	100,000
			本部事務局 幹事委託料	100,000	100,000
			広報委員会 幹事委託料	200,000	200,000
			国際交流委員会 活動費	50,000	51,811
			名簿印刷費	200,000	250,000
			次期繰越金	8,903,947	9,116,979
計	11,653,947	11,566,843		11,653,947	11,566,843

(\*1) 学会賞等奨励金の金額が昨年度は例年より少額であったため、今年度計上した一律 50,000 円に合わせ、昨年度受賞者には不足分を送金した。

会員状況 2021/9/31 現在 (2020 年度入会者数 12 名 退会者数 10 名)

会員数	数
会員種別	
正会員	317
顧問	1
総計	318

財団法人の資料: 2020 年度会費納入額 2021/9/31 現在

年度分	2020	2019	2018	総計
件数	270	23	9	302
入金額	2,160,000	184,000	72,000	2,416,000
	0			

確認しました

面矢慎介

佐藤敬

2021年7月15日

## 〔2020年度 会計監査報告〕

上記、書面決議資料に掲載の監査報告書である。

議案1については、承認121通 不承認0通で承認された。

議事2. 2021年度 事業経過報告および予算案（当初及び補正）

〔2021年度事業経過報告〕

1) 第63回大会 2021年9月11日（土）、12日（日）

於 九州大学（オンライン）

※総会議決については8月に書面で実施

2) 研究例会

第245回 2021年5月8日（土）オンラインにて実施

（担当：京都女子大学）

第246回 2021年11月(未定)日(土) オンラインにて実施予定  
(担当:島根大学)

第247回 2022年2月(未定)日(土)  
対面とオンラインのハイブリット形式を予定  
(担当:京都女子大学)

- 3) 刊行物(『デザイン理論』78・79号、「会報」87号(web版))
- 4) 意匠学会賞 各賞の授与(第63回大会にて授賞式実施予定)
- 5) 役員会の開催(5回)
- 6) 分科会(デザイン史分科会等)
- 7) 会員の募集
- 8) 広報活動の推進
- 9) 他学会等との交流(藝術学関連学会連合、デザイン関連学会連携シンポジウム、ACDHT 2021 OSAKA等)

[2021年度 当初予算および補正予算案] 表2参照

議案2については、承認121通 不承認0通で承認された。

議事3. 2022年度 事業計画案および予算案

[2022年度事業計画案]

- 1) 第64回大会の開催(総会を含む) 1回
- 2) 研究例会(見学会を含む) 3回
- 3) 分科会(デザイン史分科会等) 1回
- 4) 刊行物(『デザイン理論』80・81号、「会報」88号(web版))
- 5) 会員の募集
- 6) 広報活動の推進
- 7) 意匠学会賞 各賞の授与
- 8) 国際交流委員会の活動
- 9) 役員会の開催(4回)
- 10) 他学会等との交流(藝術学関連学会連合、デザイン関連学会連携シンポジウム等)

[2022年度予算案] 表3参照

議案3については、承認121通 不承認0通で承認された。

以上、全ての議案は、議決権行使票返送者の過半数の承認を得て可決された(総会決定の日付は9月30日)。

表1. 2020（R.2）年度収支決算（2021年9月30日承認）  
自2020年4月1日 至2021年3月31日

収入の部		
事 項	予算額（補正）	決定額
前年度よりの繰越金	9,149,947	9,149,947
会員会費	2,504,000 (8,000×313)	2,416,000 (8,000×302)
		①270+23+9=302
雑収入	0	870
利息	0	26
合計	11,653,947	11,566,843

支出の部		
事 項	予算額（補正）	決定額
『デザイン理論』編集費	20,000	20,000
『デザイン理論』印刷費	1,000,000	942,480
大会補助費	0	0
例会費	0	0
分科会費	0	0
ホームページ作成・維持費	40,000	5,568
学会賞等奨励金	60,000	(*) 240,000
藝術学関連学会連合会費	15,000	15,000
デザイン関連学会連携シンポジウム	0	0
事務費	15,000	38,281
旅費	60,000	0
予備費	80,000	22,110
業務委託業務費	630,000	464,614
業務委託立替金	180,000	0
編集委員会 幹事委託料	100,000	100,000
本部事務局 幹事委託料	100,000	100,000
広報委員会 幹事委託料	200,000	200,000
国際交流委員会 活動費	50,000	51,811
名簿印刷費	200,000	250,000
次期繰越金	8,903,947	9,116,979
合計	11,653,947	11,566,843

(\*) 学会賞等奨励金の金額が昨年度は例年より少額であったため、今年度計上した一律 50,000 円に合わせ、昨年度受賞者には不足分を送金した。

会員状況

2021/3/31 現在（2020年度入会者数12名 退会者数10名）

会員数	
会員種別	数
正会員	317
顧問	1
総計	318

計算式①の資料 2020年度会費納入額 2021/3/31 現在

年度分	2020	2019	2018	総計
件数	270	23	9	302
入金額	2,160,000	184,000	72,000	2,416,000

表2. 意匠学会2021（R.3）年度 予算及び補正予算案

（2021年9月30日承認）（2020年9月30日承認）

自2021年4月1日

至2022年3月31日

収入の部		
事 項	予算額(当初)	予算額(補正)
前年度よりの繰越金	8,757,947	9,116,979
会員会費	2,504,000 (8,000×313)	2,536,000 (8,000×317)
雑収入		0
利息		0
合計	11,261,947	11,652,979

支出の部		
事 項	予算額(当初)	予算額(補正)
『デザイン理論』編集費	10,000	20,000
『デザイン理論』印刷費	1,000,000	1,000,000
大会補助費	200,000	250,000
例会費	30,000	30,000
分科会費	10,000	30,000
ホームページ作成・維持費	40,000	10,000
学会賞等奨励金	60,000	150,000
藝術学関連学会連合会費	15,000	(*) 0
デザイン関連学会連携シンポジウム	0	0
事務費	15,000	(*) 50,000
旅費	60,000	60,000
予備費	50,000	50,000
業務委託業務費	630,000	500,000
業務委託立替金	180,000	0
国際交流委員会 活動費	50,000	50,000
編集委員会幹事委託料	100,000	100,000
本部事務局幹事委託料	100,000	100,000
広報委員会幹事委託料	100,000	100,000
名簿印刷費	0	0
次期繰越金	8,611,947	9,162,979
合計	11,261,947	11,652,979

(\*1) 昨年度開催されなかったため今年度は不要。

(\*2) オンライン開催のための費用（zoom 契約料）等をここに計上した。

表3. 2022（R.4）年度 予算案（2021年9月30日承認）

自2022年4月1日

至2023年3月31日

収入の部	
事 項	予算額
前年度よりの繰越金	9,162,979
会員会費	2,536,000 (8,000×317)
雑収入	0
利息	0
合計	11,698,979

支出の部	
事 項	予算額
『デザイン理論』編集費	10,000
『デザイン理論』印刷費	1,000,000
大会補助費	200,000
例会費	30,000
分科会費	10,000
ホームページ作成・維持費	10,000
学会賞等奨励金	150,000
藝術学関連学会連合会費	15,000
デザイン関連学会連携シンポジウム	0
事務費	50,000
旅費	60,000
予備費	50,000
業務委託業務費	630,000
国際交流委員会 活動費	50,000
編集委員会幹事委託料	100,000
本部事務局幹事委託料	100,000
広報委員会幹事委託料	100,000
選挙関連	50,000
次期繰越金	9,083,979
合計	11,698,979

# 一般会務報告

---

## 2021年度 第1回役員会 議事録

オンライン審議 (2021年5月8日10:00～12:00)

参加者:青木美保子、天貝義教、井戸美里、今井美樹、伊集院敬行、伊原久裕、大森正夫、川島洋一、工藤真生、近藤存志、佐々木一泰、佐藤紗良、佐藤博一、下出茉莉、神野由紀、高安啓介、滝口洋子、多田羅景太、谷本尚子、畑中英二、並木誠士、橋本啓子、羽藤広輔、藤田治彦、前崎信也、益岡了、三木順子、山路正憲、Yang Ning、吉羽一之、吉村典子

〔審議事項〕

議題1. 第63回大会開催について

6月末まで発表者を募集(再募集)、下記希望者は承認された。

発表希望者(申込順)

口頭発表申込者一覧(4/23現在)

1. 千代 章一郎 島根大学

「装備」の制作におけるシャルロット・ペリアンとル・コルビュジエの共同性

2. 門田 園子

お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所特別研究員

日本製プリント・テキスタイルにみられる国家の視覚化—1953年

3. 井谷 善恵 東京藝術大学

日英博覧会及び近代輸出陶磁器業界において藪明山の果たした役割について

4. 鯉沼 晴悠 京都工芸繊維大学大学院

磯崎新の初期都市思想にみる反芸術的性格—美術批評言説を手がかりに—

5. 山本 彩 京都工芸繊維大学大学院

雑誌『芝居とキネマ』におけるグラフィックデザインの展開

6. 芦高 郁子 京都工芸繊維大学大学院

日本写真美術展覧会における「写真工芸」—近代日本における写真、産業、商業の結びつきの萌芽をめぐって—

7. 落合 里麻 東北生活文化大学

女乗物の形態と装飾

8. 高見 翔子

関西学院大学大学院博士課程後期課程(弘前れんが倉庫美術館)

クワクポリョウタの初期作品から「LOST」シリーズへの作品形式の変遷—映像という視点から—

パネル発表申込者一覧(4/23現在)

1. 星野 祥子

Moon Cathcer

2.高橋 紀子 福井工業大学大学院

Missing

3.曾 品耘 京都芸術大学大学院博士課程

対話するピクトグラム

議題2. 総会資料について

別紙が提示され、詳細の最終決定については、7月中の臨時役員会で審議予定となった。

議題3. 大会における総会の実施方法について

・8月に書面議決を行った上で、9月の総会で報告することとなった。  
・規約関連の改定が必要な場合は、7月の臨時役員会で審議の上、総会で報告する。

議題4. オンライン研究発表におけるチャット機能の活用方法について

質問がある場合は、チャット機能を通じて全員へ「所属と氏名と質問内容（簡潔に）」を書き込むこととなった。

議題5. 「オンラインでの研究例会、大会参加について」の文案について

別紙が提示され、下記のとおり修正となった。

(修正前) …チャット機能に「所属と氏名」のみを書き込み、…

(修正後) …チャット機能に「所属と氏名と質問内容（簡潔に）」を書き込み、…

議題6. 2021年度11月例会について

担当校：島根大学

実施方法：オンライン

日時候補：2021年11月（日程未定）

例会担当者：伊集院委員

議題7. 学会賞選考委員会からの論文賞の報告と審議、学会賞の推薦の呼びかけ

昨年度の選考結果については、『デザイン理論』の夏号に掲載するためメール審議済で報告。

論文賞：決定済み

学会賞の推薦：『デザイン理論』へ「11月末までに推薦候補を報告してもらおう旨」の文言を記載することとした。

受賞者への報告は事務局から先方へ連絡することとなった。

# 一般会務報告

議題8. 事務局保管資料のデジタル化と処分について  
保管資料の選定を行い、今後の学会運営のために必要な資料はデジタル化して管理を行う。作業は幹事の下出茉莉会員が行い、予算を組んでアルバイトを雇うことも検討する。

議題9. 前回議事録の承認  
承認された。

議題10. 入退会希望者の承認  
入会希望者：片倉 葵、高田 嘉宏、鯉沼 晴悠、金 泰蓮  
退会の確認：中尾 寛、平田 陽子、松原 かおり、橋本 英治、溝口 和夫、矢野 節子、藤本 憲太郎  
承認された。

議題11. その他  
・第63回大会開催時のシンポジウムの共同開催について伊原委員より説明があり、シンポジウムの内容については、別紙が提示された。  
承認された。

## 〔報告事項〕

・芸術学関連学会連合の第15回公開シンポジウムについて  
シンポジウム（6月12日にzoomで開催）の参加は、HPから申し込み可能。

リンクの配信は、6月に入ってからを予定。

・デザイン理論78号発行について

①現在投稿論文が2本のみという異例の少なさのため、今後、関係者や学生へ学会発表を行ったうえで論文を積極的に投稿するよう呼びかけを行う。

②書評について

前崎委員著書及び牧田 久美会員著書の書評の執筆者について呼びかけがあった。

6月の第一週目までに入稿されたら次号に掲載可能。

・デザイン理論バックナンバーの販売について

毎日学術フォーラムでは保管費がかかるので、現在は事務局で在庫を保管。在庫の販売については、意匠学会 HP へ会員向けにバックナンバーの販売についての案内を掲載する。なお、各バックナンバーの在庫数については、今後確認し、次回役員会の際に具体的な販売方法について審議予定となった。

・オンライン例会時の担当校について

入退室管理等は事務局が担当し、担当校の委員が例会の司会進行を務める。

## 2021年度 第2回臨時役員会 議事録

オンライン審議 (2021年7月3日 10:00～12:00)

参加者:青木美保子、天貝義教、伊集院敬行、井戸美里、伊原久裕、今井美樹、大森正夫、工藤真生、佐々木一泰、佐藤博一、下出茉莉、神野由紀、高安啓介、滝口洋子、竹内有子、多田羅景太、多田羅多起子、谷本尚子、塚田 章、並木誠士、橋本啓子、藤田治彦、益岡了、三木順子、Yang Ning、吉羽一之、吉村典子

〔審議事項〕

議題1. 第63回大会開催について

発表希望者(申込順)

口頭発表申込者一覧(7/3現在)

1.千代 章一郎 島根大学

「装備」の制作におけるシャルロット・ペリアンとル・コルビュジエの共同性

2.門田 園子

お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所特別研究員

日本製プリント・テキスタイルにみられる国家の視覚化—1953年エリザベス二世戴冠式から新生アフリカ国家イメージまで

3.井谷 善恵 東京藝術大学

日英博覧会及び近代輸出陶磁器業界において藪明山の果たした役割について

4.鯉沼 晴悠 京都工芸繊維大学大学院

磯崎新の初期都市思想にみる反芸術的性格—美術批評言説を手がかりに—

5.山本 彩 京都工芸繊維大学大学院

雑誌『芝居とキネマ』におけるグラフィックデザインの展開

6.芦高 郁子 京都工芸繊維大学大学院

日本写真美術展覧会における「写真工芸」—近代日本における写真、産業、商業の結びつきの萌芽をめぐって—

7.落合 里麻 東北生活文化大学

女乗物の形態と装飾

8.高見 翔子

関西学院大学大学院博士課程後期課程(弘前れんが倉庫美術館)

クワクボリョウタの初期作品から「LOST」シリーズへの作品形式の変遷—映像という視点から—

# 一般会務報告

以下追加分

9. 天貝 義教 秋田公立美術大学

立方体の展開図を使った組合せパズルの構成とプログラミング

10. 泊里 涼子 武庫川女子大学大学院博士後期課程

「木目」と「空」にみる素材観の変容—化粧シートと銘木を対象として—

11. 酒井 公子 京都工芸繊維大学大学院

海の見える杜美術館蔵『舞の本絵本』の挿絵について—「伏見常盤」を中心に—

パネル発表申込者一覧（4/23 現在）

1. 星野 祥子

Moon Cathcer

2. 高橋 紀子 福井工業大学大学院

Missing

3. 曾 品耘 京都芸術大学大学院博士課程

対話するピクトグラム

以下追加分

4. 伊原 久裕 池田 美奈子 非会員 工藤 真生

中村哲医師メモリアル・アーカイブ グラフィックデザイン

タイムテーブル、準備スケジュール、予算案が別紙で提示された。大会、シンポジウムへの参加は、大会ホームページ上にそれぞれ申込みフォームを設け、事前申込制とする。

会員へは、大会、シンポジウムの URL を ML で配信予定。

シンポジウムは、前回役員会で承認されたとおり社会包摂デザイン・イニシアティブとの共同開催（資金援助あり）となるため一般公開とする。

大会、総会、シンポジウムの実施方法の詳細については以下のとおり。

・大会

新規に取得する zoom アカウントを使用。

大会ホームページ上に事前申込フォームを設けるが、事前申込みを全員とするか非会員のみとするか今後検討し、全員とする場合は、所属と会員・非会員かを記載する項目を設けることとなった。

梗概集は、大会ホームページ上から PDF をダウンロードできるようにする。

・総会

大会とは別に総会用の URL を設けるか、今後検討することとなった。

・シンポジウム

ウェビナー（独自アカウント）を使用する。

大会ホームページ上に事前申込フォームを設ける。

議題2. 総会資料について

一部修正の上、承認された。

議題3. 学会賞選考委員会からの学会賞、論文賞の報告

承認された。

議題4. 2021年度11月例会について

開催校：島根大学

日時候補：11月13日（土）

例会担当者：伊集院委員

発表予定者：

竹内 有子（京都先端科学大学）

19世紀後期英国のデザイン改良運動におけるオリエンタリズムの  
形成—オーウェン・ジョーンズを事例として—

陳 鶯（京都工芸繊維大学工芸科学研究科研究生）

理想と現実の入れ替え：川島理一郎の広東従軍行

議題5. 前回議事録の承認

承認された。

議題6. 入退会希望者の承認

入会希望者：CHAROENKIJKAJORN POSSANUNT、

福山 未智、WU YUNFENG、WANG ZE、駒井 正人

退会の確認：石原里美

承認された。

議題7. その他

谷本会長より、学部・修士の学生のための研究発表会を企画している旨の報告があった。

〔報告事項〕

・意匠学会会報 87号について

記載ミス防止のために、レイアウト後の会報を役員で確認してほしいとの報告があった。

・国際会議「ACDHT 2021 OSAKA」開催について

会期：2021年8月29日～30日

実施方法：オンライン

# 一般会務報告

主催：意匠学会、デザイン史学研究会、大阪大学大学院文学研究科  
会費：オンライン開催のため徴収しない

・2022年度藝術学関連学会連合公開シンポジウムのテーマについて

8月末までにテーマ案を近藤委員にメールで送付するよう報告があった。

・計測自動制御学会協賛について

同学会から例年通り意匠学会への協賛依頼があり、協賛したとの報告があった。

## 2021年度 第3回臨時役員会 議事録

オンライン審議（2021年9月11日 10:00～12:00）

参加者：青木美保子、天貝義教、伊集院敬行、井戸美里、伊原久裕、今井美樹、大森正夫、川島洋一、佐藤博一、下出茉莉、神野由紀、高安啓介、竹内有子、滝口洋子、多田羅景太、多田羅多起子、谷本尚子、塚田章、橋本啓子、畑中英二、藤田治彦、前崎信也、益岡了、三木順子、吉羽一之

〔審議事項〕

議題1. 第63回総会における議決権行使票の結果について  
別紙が示され、議案1～3について結果が承認された。

議題2. 2021年度2月例会について

開催校：京都女子大学

日時：2022年2月12日（土）

開催形式：ハイブリッド（その時の状況によってはオンラインのみになる可能性あり）

発表予定者：

WU YUNFENG（京都工芸繊維大学大学院）

秦公簋銘のデザイン性に関する研究

CHAROENKIJKAJORN POSSANUNT（京都工芸繊維大学大学院）

「サムットタイ」にあるデザイン手法

議題3. デザイン理論最新号、会員への追加販売時の価格について  
バックナンバーの販売価格同様「500円+送料（郵送の場合）」とする。

議題4. 和暦（元号）と西暦の混在標記について

HP上の各賞一覧の表記を、沿革同様「和暦（西暦）」に統一する。

議題5. 国立国会図書館インターネット資料収集保存事業について

承認された。

議題6. 前回議事録の承認  
承認された。

議題7. 入退会希望者の承認  
入会希望者：岡田考博  
退会の確認：北山明乃  
承認された。

議題8. その他

・2021年度2月例会の発表者について下記のとおり承認された。

WU YUNFENG（京都工芸繊維大学大学院）

秦公簋銘のデザイン性に関する研究

CHAROENKIJKAJORN POSSANUNT（京都工芸繊維大学大学院）

「サムットタイ」にあるデザイン手法

・大会プログラムについて

オンライン開催により、第62回大会では紙媒体のプログラムが発行されないため、次号のデザイン理論に大会プログラムを掲載する。

・大会HPデザインの保管について

アーカイブ化できるよう今後検討する。

〔報告事項〕

・国際会議ACDHT 2021 OSAKAの開催報告

掲載用報告書（橋本委員作成）について、次回役員会時にデザイン理論への掲載を審議する。

・2021年度デザイン関連学会シンポジウム開催日について

11月14日（日）14:15～16:15

・第63回大会について

会場：大阪工業大学

会期：2022年9月上旬

開催形式：

オンライン開催か対面で行うのか学会として今後検討する。

## 2021年度 第4回役員会 議事録

オンライン審議（2021年11月13日 11:00～13:00）

参加者：伊集院敬行、井戸美里、伊原久裕、今井美樹、大森正夫、近藤存志、佐々木一泰、佐藤博一、下出茉莉、竹内有子、多田羅景太、谷本尚子、塚田章、並木誠士、橋本啓子、藤田治彦、益岡了、三木順子、吉村典子

# 一般会務報告

〔審議事項〕

議題1. 2022年度5月例会について

日時：2022年5月（未定）日（土） 13:00～

実施方法：対面とリモートのハイブリッド形式

（ただし発表者は原則会場で発表すること）

担当校：近畿大学または京都精華大学で実施予定。

発表候補者：

佐藤 悦子（京都工芸繊維大学大学院 博士課程後期課程）

松花堂に現存する竈の特徴—丸瓦の意匠を中心に—

五十棲 亘（神戸大学大学院人間発達環境学研究科 博士課程後期課程）

戦後日本における洋裁教育としての批評とその形式主義的側面

—雑誌『装苑』の言説をもとに—

高橋 紀子（福井工業大学大学院）

大林宣彦監督「時をかける少女」における時間の多層構造と地域資源

承認された。

議題2. 第64回大会開催について

開催校：大阪工業大学 梅田キャンパス

日時：2022年8月27日、28日

開催形式：未定

詳細：別紙

情報の開示について：

発表者募集の締切を4月15日頃とし、5月の役員会で審議後、決定した発表者の名前をホームページに掲載する。

議題3. 分科会の活動形式とその活性化について

谷本会長より分科会の活動形式と投稿規定について以下の新方針の提案があった。

①分科会開催にあたる発表者の募集、zoom等の発表準備作業等、本部事務局が担ってきた業務を、分科会が主体となり自立した形で取り組む方がよりスムーズに活動できるのではないか。

②分科会で口頭発表したものも論文投稿の対象にできないか（現時点では、分科会の活動については「開催報告」としてデザイン理論に掲載するのみにとどまり、論文投稿については、大会、例会での発表が対象となっている）。

①については、HPへの掲載等活動の見える化を重視し、今後さらに検討していくこととなった。

②については、投稿規定に関する内容であるため、編集委員長出席の役員会で今後審議を行うこととなった。

議題4. 前回議事録の承認  
承認された。

議題5. 入退会希望者の承認  
入会希望者：岡田 弥生  
退会の確認：青木 智子

議題6. その他  
・国際会議ACDHT2021 OSAKAの開催報告の掲載について承認された。

〔報告事項〕

・第63回大会について  
参加者人数と会計について別紙が提示され、伊原委員より報告があった。

## 2021年度 第5回役員会 議事録

オンライン審議（2022年2月12日11:00～13:00）

参加者：青木美保子、伊集院敬行、井戸美里、伊原久裕、今井美樹、大森正夫、川島洋一、近藤存志、佐々木一泰、佐藤博一、下出茉莉、神野由紀、高安啓介、竹内有子、多田羅景太、多田羅多起子、谷本尚子、塚田 章、並木誠士、橋本啓子、藤田治彦、前崎信也、益岡了、三木順子、山路正憲、吉羽一之、吉村典子

〔審議事項〕

議題1. 2022年度5月例会について

日時：2022年5月7日（土）13:00～

実施方法：

ハイブリッド形式（ただし発表者は原則会場で発表すること）

担当校：京都精華大学

発表予定者：

佐藤 悦子（京都工芸繊維大学大学院 博士課程後期課程）

松花堂に現存する竈の特徴—丸瓦の意匠を中心に—

五十棲 亘

（神戸大学大学院人間発達環境学研究科 博士課程後期課程）

戦後日本における洋裁教育としての批評とその形式主義的側面—  
雑誌『装苑』の言説をもとに—

# 一般会務報告

高橋 紀子（福井工業大学大学院）

大林宣彦監督「時をかける少女」における時間の多層構造と地域資源

議題2. 第64回大会開催について

開催校：大阪工業大学 梅田キャンパス

日時：2022年8月26日、27日、28日

開催形式：対面＋オンライン配信（予定）

詳細：別紙

議題3. 委員の退会による役員組織メンバーの変更について

井戸委員の退会に伴い、並木委員が新たに会計委員に就任することで承認された（学会賞選考委員と兼任）。また、これに伴い会員のの中から会計担当幹事を新たに設ける。幹事手当ては、事務局に割り当てられている幹事手当て10万円のうち庶務幹事と会計幹事で各5万円とする。これに伴う会計上の変更はない。

議題4. 次年度の事業計画について

一部調整中の事業を除き、承認された。

議題5. 分科会の活動形式とその活性化について

①分科会開催にあたる発表者の募集、zoom等の発表準備作業等、本部事務局が担ってきた業務を、分科会が主体となり自立した形で取り組む方がよりスムーズに活動できるのではないかと。

②分科会で口頭発表したものも論文投稿の対象にできないか（現時点では、分科会の活動については「開催報告」としてデザイン理論に掲載するのみにとどまり、論文投稿については、大会、例会での発表が対象となっている）。

①についてはHPへの掲載等活動の見える化を重視し、今後さらに検討していく。

②については投稿規定に関する内容であるため編集委員長出席の役員会で今後審議を行う。

なお、本件についてワーキンググループの設立が決定した。

議題6. 第19回日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について

事務局から役員へ候補者を推薦するようメールで告知する。

議題7. 投稿論文における枚数超過原稿の取り扱いについて

2件の投稿論文に枚数の大幅な超過があったため不受理とした。これを踏まえ、編集委員長より再度投稿規定について周知するとともに、今後の対策として、テンプレートを学会員と共有できるようにする

ことや、投稿規定の加筆修正を検討する。

議題8. デザイン理論バックナンバーの販売委託および事務局での保管期間について

事務局保管は各号1冊とし、保管委託を10冊とすることで承認された。

バックナンバーの販売についても毎日学術フォーラムへ委託する。必要経費は以下のとおり。

- ・保管委託料：段ボール1箱（約70冊入） 300円/月
- ・販売委託手数料：冊子価格 × 冊数 × 0.4

議題9. 英国前衛美術とグラフィック・デザインオンライン研究会の後援について

承認された。

議題10. 前回議事録の承認

承認された。

議題11. 入退会希望者の承認

入会希望者：吉田 理紗、池田 早織

退会の確認：美馬 智、長久 智子、井戸 美里

承認された。

議題12. その他

・学会賞の推薦について

現時点では推薦が無いため、どなたか推薦をお願いしたいとの声かけがあった。

・HP掲載の学会賞受賞者の所属については、これまで通り、氏名とともに掲載することとなった。

〔報告事項〕

・モリス研究会開催報告

第6回ウィリアム・モリス研究会の開催について報告があった。

・ACDHT2021OSAKA 国際会議ホームページのジャーナル作成他の支払いについて

関係組織の必要経費支払いについて報告があった。

**寄贈図書紹介**

上羽 陽子・金谷 美和（編著）

『躍動するインド世界の布』昭和堂、2021年、

ISBN-10：4812221013、ISBN-13：978-4812221013

---

**会報担当連絡先**

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町 35 京都女子大学家政学部生活造形学科 B415  
青木美保子 宛 Tel : 075-531-7169 (研究室直通) E-mail : aokimih@kyoto-wu.ac.jp